

郵便はがき

502-0907

岐阜市島新町5-9

いぶき福祉会 行

夢よもっとひろがれ10月号
アンケート係

お名前				様
ご住所	〒	—		
お電話番号	(	)	—	
メール				@
☒ いぶきからのお知らせを ☐ 受け取る ☐ 受け取らない				

【プレゼントのご応募: する ・ しない】

ご協力ありがとうございました。

当さんの発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

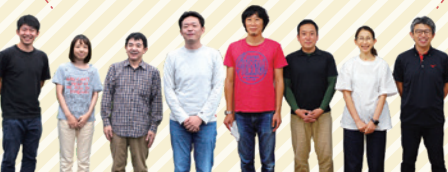
賞品の発送は11月中旬を予定しております。

※ご意見・ご感想はいぶきのサイトで掲載させていただく場合がございます。

編集委員
です

わたしたちがつくっています

左から、
藤澤秀人
初瀬尾久美子
池田光巳
藤澤亮太



右から、
森洋三
北川雄史
山本友美
山本昇平
川瀬悟

夢よもっとひろがれ vol.208 10月発行 **・次号は4月下旬発行・**

発行・編集: 社会福祉法人いぶき福祉会・いぶきファミリー

〒502-0907 岐阜市島新町5番9号

TEL: (058) 233-7445 FAX: (058) 232-9140

メール: ibuki.m@ibuki-komado.com

サイト: <http://www.ibuki-komado.com/>



法人サイト



ネットショップ

いぶきの活動の様子を
WEBページでご覧いただけます。

いぶきはともに
向き合い続けます
IBUKI
○○

- 4月 #バレットお花見
#シエルお楽しみ会
#第二いぶきのお昼ごはん
#5月5日はこいのぼり
#カレンダーに予定がいっぱい
#『ありがとねバスケット』プロジェクト
#ムスカリの修了式
#「夢よひろがれ」発送しました!
#張り子のねこガチャ好評です。
#バレット新商品いっかんぼり
#百々染 インスタもやっています!
#父親の会 百々染農園の畑作り
- 5月 #新茶の収穫、目前です
#岐阜新聞に掲載されました
#おかあさん、ありがとう♡母の日ギフト
#Youtube チャンネル
#100人を超える応援ありがとうございました
#オンライン見学会を観ました
#ケーブルテレビの取材がありました
#5月の土曜開所日は運動Day
#ぎふハッピーウオークオンライン配信へ
#福祉新聞に掲載されました。
#ぎふハッピーウオーク! 行いました。
#【ライブ】5月28日 乾燥工房フルーツ
- 6月 #フルーツのオンライン見学会
#マーブルのフェルト玉です
#羊毛フェルトつくり
#新茶の収穫完了!
#夏季カタログ販売、スタートです!
#ハッピーウオークで久々の交流会から～
#それぞれの役割で
#学びのひとコマ
#おいしかったよ、楽しかったよ
#バレットの作業紹介
- 7月 #「ありがとね」が届きますように6月分～
#座談会「母はいつでも元気印」TOM07～
#ねこの約束の夏のおくりもの
#“いぶきweek”中日新聞に掲載されました
#お誕生日おめでとうバスツアー誕生会
#土曜の日は、うなぎ!
- 8月 #おいしくできました! 栗まんじゅう
#「山県はすけっと」オープン!
#「ぎふハッピーハッピープロジェクト」～
#真夏到来!
#クレープを作って
#いぶきのフェルトで“ありがとね!”
#いぶき福祉会会員の移行のお願い
#来年の主役の張り子づくりに励んでいます。
#ひまわりをいただきました!!
#あかね・ソレイユ夏祭り
#今年初の国産メンマができました!
#Kouzo Gifu いぶきweek!
#今年の夏もやっぱりかき氷!
#しゃぼん玉がしたいんです。
#コースター作りに大忙し
#久しぶりの外出、洲原ひまわりの里へ
#布ぞうりづくりに挑戦中!
#どれから食べようかな。
#平成調剤薬局様に募金瓶の受け取りに～
#Tik Tok 始めました!
- 9月 #かりんとうの生地でビザ作り
#年次報告書2020を読む会を開催しました
#さつまも畑に応援に入りました。
#「事務室ダイアログ」が始まりました。
#奇跡のスッキーニ
#毎日散歩しています!
#金華山へドライブ
#ビートルズもいいね!
#楽しく体操
#茶畑は秋の風に赤とんぼ天国
#こぼれさんで『いぶきのかりんとうへ
#こらりんピック開催します!
#旬を旅する野菜セット
#クサギの木を探しています
#アイロンビーズでひこにやんを作って～
#「おだまき」って「織田巻」?

夢よ
もっと
ひろがれ

vol.208

いぶきファミリー
会報誌

2021
みのり



Kazuo Tsuzuki

もくじ

- 3 はじめに
- 4-6 仲間のすがた
- 7 連載: 恩田聖敬が愛を語る
- 8-9 対話の時間
- 10-11 わたしと娘といぶきと
- 12-13 ものづくりストーリー
- 14 情報掲示板
- 15 連載: 金波・銀波

作者の紹介

《表紙のタイトル》

いぶきゆめひろ共同作業所 白木祐さん



夢よ
もっと
ひろがれ

《表紙のイラスト》

いぶきゆめひろ共同作業所 都築一雄さん



シマウマ

はじめに

日頃よりいぶき福祉会の活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。1984年いぶき共同作業所がスタートして以来37年間、みなさまといぶきを結んできた会報誌『夢よもっとひろがれ』。今号より、誌面を刷新いたしました。手にとっていただきやすいように、ひとまわり小さくしていぶきが大切にしていることや、ここに集う人々の物語などを丁寧につつっていきたいと思っております。また、会報誌の発行を春と秋の2回のお届けとし、年次報告書は夏にお送りいたします。本誌を通じて、みなさまとのつながりがもっと豊かになることを目指してまいります。お気軽にご感想やおたよりをお寄せいただき、一緒に育てていただければ幸いです。



第二いぶき にじ 可児恵里奈

『一緒に』過ごすなかで



紅葉真っ盛りのイチョウを見に来ました



成人を祝う会、少し緊張気味。



歌を歌う鷲見さんに、耳を傾ける寺澤さん



山田さん(右)と。次々と細かくしていきます

鷲見圭亮さんは第二いぶきに通い始めて3年目。今年の1月に成人式を終え、大人の仲間入りをしたひとりです。いぶきに来た頃よりも少し大人っぽい雰囲気になってきました。1年目のころは新しい環境、一緒に過ごす仲間に不安を感じ、涙をこぼしながら過ごしていたこともあり。今では不安になると職員を目で追い「ぱっ!」と声を出してそばに来てほしいことを伝えるようになりました。鷲見さんと一緒に生活する中で、輝く場面がたくさんあります。出勤すると扉を3回ノック。「コンコン!」と部屋に響くと扉が開いて「おーはーよ!」のあいさつで1日がスタートします。部屋全体がぱっと明るくなる瞬間です。朝の打ち合わせでは「元気ですか?」と聞かれるとガッツポーズで元気だよと答えます。

活動している部屋「にじ」では季節を感じながらの散歩、雨でも屋根の下を歩いて体を動かす時間を大切にしています。まず一番に、救急セットが入った散歩のリュックを持って準備を始めます。「よろしくね」「ありがとう」と言われると嬉しそうな笑顔を見せます。『一緒に』歩くパー

トナーは寺澤さん。出発するよ〜と声がかかると「えいえいおー」が準備OKの合図です。目に写る景色を歌にするのが大好きで、たくさんの歌を知っています。伊自良湖を見ると「♪海は〜広いな〜」、落ち葉を拾うと「♪焼き芋焼き芋〜」と口ずさむ鷲見さんに寺澤さんは小さく声をだしてハミングします。歩くことが好きというより、誰かと一緒に行動することが好きなようで一緒に歩く仲間や職員にとっても、とても楽しい時間です。

鷲見さんにとって仕事をする 것도、仲間と『一緒に』やりとりを楽しんだり頑張ったりする大切な時間です。現在大好評をいただいている張り子の仕事をしているのですが、この時期になると来年の干支(とら)張り子の制作に大忙しです。『一緒に』働くパートナーは山田さん。2人分のカゴとちぎる新聞を準備するところから仕事が始まっています。2人がちぎる新聞は、安藤さんが大きな新聞を細長くちぎったもの。この新聞を2人でさらに細かくしていきます。山田さんの集中力とちぎる技術は張り子チームの中でピカイチ。一緒に仕事をしていくうちに、自



《はつちるし、関市》子どもが百人一首を覚えはじめたのをきっかけに家族みんな百人一首の和歌に挑戦中。覚えはじめると昔も今も変わらない情景や感情、四季の移りかわりを一首ごとに感じることができ、カチカチの頭がほぐれるようでとても楽しいのです。お正月にかかるた大会をするのが目標☆子どもに負けずに百首達成するぞ!!



笑顔がたくさん見せながら、おしゃべりを楽しんでいます

散歩の合間にほっとひと息！みんなでゆったりタイムです

心のバリアフリー ナビゲーター 恩田聖敬が 愛を語る！ vol.7 子弟愛



恩田聡(おんださとし)1978年生まれ。
岐阜県高富町出身。京都大学大学院航空
宇宙工学専攻修了。Jリーグ・FC岐阜の
社長に35歳で就任。現場主義を掲げ
チーム再建に尽力。就任と同時期にALS
発症。2015年末に辞任。翌年、『ALSでも
自分らしく生きる』をモットーに(株)まん
まる笑店を設立。講演、研修、執筆等を全
国で行う。2018年8月に、気管切開をし
て人工呼吸器ユーザーとなる。2児の父。



BLOG



FB

私には仕事において忘れられない上司がいます。特に社会人最初の上司(〇さん)の印象は強烈でした。もう17年の刻がたちましたが、〇さんが最初の上司じゃなかったら間違いなく今の私はありません。〇さんは仕事というものの本質を私にたたき込んでくれました。見た目の風貌はヤクザです(笑)口は悪いし、仕事をなめた態度を取ると平気で鉄拳制裁が待っていました。(もう時効です(笑))けれどもユーモアとアイディアにあふれた方で、お客様を楽しませるプロでした。そして仕事は結果を残さなければいけないことも強く強く教え込まれました。



新卒まもない私、いや～若い(笑)

こうして入社3ヶ月にして圧倒的な数字への意識、予算達成への執着心を身につけることができました。これはビジネスにとって根底にある考えです。ビジネスは慈善事業とは違います。お客様に満足いただき、それに見合う対価をいただく必要があります。ここから

は上司との個人的エピソードです。
〇さんは新卒以来約8ヶ月直属の上司でした。その間何度も食事に連れて行ってくださいましたが、いくら頼んでも1円も払わせてくれませんでした。〇さんの下を離れてしばらくして私は基幹店舗の店長に起用されました。そこで歴代最高の売上と利益を上げ、その実績を買われて本社配属となりました。そして入社3年目の年末年始、本社の人間は店舗のヘルプに行くのが通例でした。私のヘルプ先はなんの因果か〇さんが店長を務める店舗でした。私は久しぶりの現場に喜びを爆発させ心から接客を楽しんでいました。休憩時間に〇さんとラーメン屋に行きました。私が「今日こそは払わせてください!」と言うとあっさりと「ごちそうになるわ」とおっしゃいました。そしてラーメンを食べ終わった彼が一言、「俺は信頼してるやつからしか奢ってもらわんのや!」。この言葉を聞いた私は思わず涙をこぼしました。わずか600円のラーメン代を払ったに過ぎません。しかし、それは〇さんが私を一人前と認めた証でした。すっかりご無沙汰しておりますが、ぜひお会いして改めてお礼を伝えたいです。



〇さんと共に2ヶ月連続
最優秀店舗獲得!

然と集中する時間が長くなり、細かくすることができるようになってきました。細かくちぎることで、ミキサーにかけた時に滑らかに仕上がります。この滑らかさがきれいな張り子の土台につながるため手の抜けないとても大切な工程です。ミキサーチームから助っ人を頼まれることもしばしば。「鷺見さん、お願いできますか?」と頼まれると「はい」とまっすぐ手を挙げて、すんなり引き受け、「1、2、3～」と30までのカウントをリズムよく手拍子で数えます。しっかりと水をきって、土台の完成です。仕事のあいさつでは、「よろしくお願いします!」「おつかれさまでした!」を姿勢をピンとしてぱっちりきめま。時々、他の仲間に指さしをして「〇〇さんお願いします」と両手を合わせて伝えます。

こうして振り返ってみると、どの場面にも『一緒に』過ごす仲間との素敵な時間があふれています。一緒に過ごすことで、散歩はより楽しい時間となり、仕事はより上達し、張り子メンバーにはかけがえのない存在になりました。

人と関わるのが大好きで、たくさんの関

わり方を知っていて、その中に楽しさを見つけられることは、素敵どころです。まだまだあどけなさが残っていて、少々自分の思いが強い一面もありますが、それも魅力のひとつです。いぶきにきているいろいろな一面が見られて嬉しいです。きっとまだ知らない、見つけられていない可能性を秘めていると思うので、この先が楽しみです。今もっている鷺見さんの力と、築いてきた関係を土台に、新しい人や新しいことに挑戦していくことが、またひとつ自信につながると思います。

日々の中で見せる小さなサインに気づき、気持ちに寄り添いながら「この人がいてくれたら安心する」「この人と一緒に頑張れそう」と思ってもらえるような存在になれるように毎日を過ごしています。これからも、鷺見さんらしさを大切に、誰かと『一緒に』過ごす時間を楽しみ、たくさんの経験を積み重ねていきましょう。



岐阜県美術館や岐阜県現代陶芸美術館で
ガチャガチャ機にて販売中!



みんなのスペース
メンバーズ
《あざし/岐阜市》最近、オカメインコを飼いはじめました。名前は「みかん」です。まだ幼いので、先のとがったスプーンに餌を置くとか、くちばしを持って来て、「くわくわ」と言いながら食べる小さきながらなんともかわいいです。ステイホームの私の癒やしです!



やまもと しょうへい

山本昇平

西部事業部管理者

蒲郡を飛び出して気付けば入職19年。いぶき→第二→パストラル→第二→いぶきと異動しました。趣味はアウトドア。キャンプはソロも家族も涙の自粛中。お褒めと労いの言葉が好物で、裏があっても気づかないので喜びます。



ふじさわ りょうた

藤澤亮太

北部事業部管理者

いぶきに入って14年目です。昨年度までの10年間パストラルに所属していました。今年度から久々に日中勤務になりました。最近じゃがりにハマっていて、毎日寝る前に一袋食べて寝る幸せな日々を送っています。

今年度から事業部の管理者になったふたりで対話をしました。

これからのいぶきのこと

山本 コロナ禍で昨年度も今年度も活動を自粛することが多くて、仲間たちが楽しみにしていた活動や地域のみなさんと関われる機会が減ってしまったのは寂しいですね。当たり前のようにあったつながりが分断されてしまったことはとても悲しいですが、クラウドファンディングや『ぎふハッピーハッピープロジェクト』などでご支援いただいたり、ご縁をいただいたりして、多くの方とつながり合えたことは嬉しく、いぶきとして課題をもって取り組めたと思います。

藤澤 北部では、毎年楽しみにしていた夏まつりを新型コロナの影響で中止し、その代替でパストラルD棟の防災室で防災にまつわる取り組みや備蓄の紹介、非常食の試食などをする『防災デー』を開催しました。地域の方にも、お手紙と非常食のお届けをし、久しぶりにみなさんの顔が見られたのも

良かったです。ただ現状を嘆くだけでなく、今できることを今までとは違った形にして、今後も地域のみなさんとつながっていきたいと思います。

山本 新たな形、価値をつくって、いぶきの枠組みを超えた輪が広がるようにしたいですね。10月からのふるさと納税制度のクラウドファンディングでは『親なき後』の問題にも取り組みますが、社会福祉法人としての役割というか、いぶきの課題だけじゃなくて、社会課題に対してもしっかりと活動していける集団でありたいですね。

藤澤 仲間の将来のことを考えることも多いですが、現場が抱えている課題も多いです。まずは仲間とちゃんと向き合う実践を重ねたいです。僕はホームでの勤務が長かったので、日中活動のことで全然知らなかったことが多かったです。特に現場のことで何が課題かとか。仲間の願いに沿っ

た支援をするには日中夜間を区分けせずに連携しなければならない部分も多いので、まず僕の役割として、その橋渡しの役を担っていこうと思っています。

山本 立場が変わって改めて知ることも見つけられなかった課題もあります。僕たちの仕事は仲間の人生を支える仕事でもあるし、こうありたいと願うことをちゃんと実現できるように、一緒に歩いていきたいですね。改めて入職してからを振り返ってみると、仲間も職員も多くなって、いぶきも大きくなりましたね。

藤澤 そうそう！どのグループがどんな活動して、どんな商品を作っていて、どんなことを大切にしている…って、分からないことも多くて(笑)。職員の僕でもそうなので、ファミリー会員の方や応援してくれている方にも分かりづらいかもしないです。

新会報誌で叶えたい事

山本 いぶきの活動だけでなく仲間たちの声をもっと届けたいですね。日々の様子は法人のwebサイトでタイムリーに発信して、しっかりと伝えたい活動や成果報告は年次報告書にまとめていきます。

藤澤 編集委員の中でも話が出ましたが、仲間、職員、保護者だけでなく、この会報誌をもとに、いぶきを応援してくれているみなさんとも、もっとつながれるといいですね。

山本 これまではいぶきを通じてつながることが多かったですが、いぶき

の枠組みを超えた先でも、会員さん同士がつながりができたらいいと思います。例えば、会報誌に、いぶきを応援してくれているお店の情報を載せたとして、それを見た方が店を訪れて、いぶきの話題が出て盛り上がった…さらにその循環が広がっていったら、もっと暮らしやすい地域になると思います。

藤澤 こんなご時世だからこそ、温かみのあるつながりを感じられたり、交流の輪をつくっていける会報誌っていいですね。せっかくのファミリーの会報誌だから、いぶきを応援してくれている人との1コマを紹介するのもいいですね。

山本 丁寧に、いただいたご縁は紡いでいきたいですね。それと、会報誌の発行が年4回から2回になるので、さらに伝えたいことが多くなりますが、いぶきのことだけにこだわらずに、もっとみんなが読んでみたいって思える誌面を作りたいですね。

藤澤 その分もっと濃い内容をお届けしたいです。いぶきがあって良かったと思ってもらえることを目指して、努力したいです。

山本 そうできるように、まず僕らは元気に働きましょう。いぶきで働けて良かった仲間たちにも職員たちにも思ってもらいたいですね。

藤澤 そうですね、お互いががんばりましょう。
両者 ありがとうございました。



みんなのスペース
メンチャーズ



《さうなん／岐阜市》いろいろなあつて猫を飼うことになりました。今は室内飼いが普通なんて初めて知りました。ちよっと驚きです。今は縄張りが増えたのか、なんでも壊されてしまいます。先日の子どもの通知表が裏切られていました。がわいの猫のおかげで大切なものをしまつ癖がついてつづつあります。

※ シリーズ ※

わたしと娘といぶきと

いぶきに通う仲間の親さんの手記。わが子の生い立ち、
これまでのことを振り返って、エピソードや自身の想いをつづっていただきます。

安田 浩幸 (安田百花さん父)

百花(ももか)が三女として誕生したのは、
2001年2月20日でした。

妻が出産する時、私も立合いました。その
時何か今までの二人の娘と表情が少し違
うなど感じましたが、その後は何の心配
もすることなく、妻と百花が産婦人科を
無事退院するのを楽しみにしていました。
出産翌日、私の仕事場に妻から何か心配
気な声で、「子供のことで話したいので、
今日仕事の帰りに産婦人科へ寄ってほし
い。」と電話が掛かってきましたので、ど
うしたのかと聞くと、ダウン症かもしれ
ないと言われました。突然の事で、私は妻
にどう答えて良いかわかりませんでした。
私たちは、百花の誕生の喜びと同時に大
きな不安に包まれたのを覚えています。



3歳頃の家族旅行。お父さんと大好きなプール遊び



小学校1年生。ちょっと不安そうな初登校

産婦人科を退院後、母乳の摂取量が少な
く健康状態が思わしくなかったため産婦
人科医の紹介で当時の県立岐阜病院(現
岐阜県総合医療センター)へ入院しまし
た。1ヶ月後無事退院しました。百花が誕
生してから病院を退院するまでの間、私
は今までの人生で、一番いろいろな事を
考え、学んだような気がします。

余談ですが、この時から毎朝地元の神社
に三人の娘の幸せを祈願に行くようにな
り20年間継続中です。

百花が退院してから、県立病院の担当医
から正式にダウン症(検査結果)と知らさ
れましたが、私たち夫婦の覚悟は決まっ
ていましたので、百花と長女・次女3人の
子供を幸せにするために頑張るんだとい

う気持ちをさらに固めました。

その後、百花は、ポップの家・長良光学
園と療育に通った後、岐阜市立網代保育
所・岐阜市立七郷小学校・岐阜市立特別支
援中・高と進学しました。百花は、素晴ら
しい先生方や友達に恵まれ幸せでした。
百花は幸い合併症はありませんでしたが、
小学校の時、血尿が出たので、病院に連れ
て行くと即入院となりました。検査の結
果IgA腎症といわれ、高校を卒業するま
で通院生活を送りましたが、おかげさま
で現在は完治しています。



15歳の家族旅行。京都へ

百花は、誕生した時から現在まで色々
な事で自分自身と闘ってきたと思いますが、
いつでも笑顔で周囲を癒やしてくれます。
私も気持ちが落ち込んでいても、百花の
笑顔を見るとほっとします。百花は自分
の事よりも家族の幸せを一番に願ってい
るような気がします。

百花がいぶきさんにお世話になることが
できて3年目です。今年成人を祝う会を
開催していただき百花の晴れ姿を見るこ
とができて、涙が出そうになりました。



2021年1月9日成人還暦を祝う会

毎日いぶきさんに行き、おいしいお弁当
を食べ、働き、仲間の皆さんと交流して充
実した生活をおくり、家族がいつまでも
明るく過ごすことができれば幸いです。
また百花が誕生してから、百花の将来と
家族のために苦勞してきている妻の努力
がなければ、現在の安田家はなかったと
思います。
最後になりますが、今後もいぶきさんで
多くを学び、体験し未来に向かっていっ
てほしいと思います。



オープンアトリエに参加。大好きな方や画材が増えました

みんなの
スペース
ふんちん
ズ

《ふんちんズ/岐阜市》お出かけできなくなつたからではありません。小学4年生の時、地図帳をもら
えたことが本音に燃しくて、何時間でも地図を眺めていられたのは数十年前だったこともありません。
そんな私にとって、スマホの地図アプリは魔法の絨毯。今日も世界中の街を思う存分旅するのだ！

いぶきの
ものづくり
ストーリーIBUKI
Branding Story

いぶき&はちみつ

ハローのカレンダーづくり

サテライトいぶきハロー

山下 悠



それぞれの力を持ち寄って

毎年恒例となっている桑原さんが手掛ける切り文字カレンダーを商品にするのは、今年で4年目です。「桑原さんの作品の魅力をたくさんの人に知ってほしい」という思いから、商品化することが始まりました。私は「今年はどんなデザインにしよう」と悩んでいました。そんな時、アート活動に取り組む仲間の姿を思い出しました。

ハローでは毎月1回アート活動に取り組んでいます。そこで仲間たちは自分の世界を自由に描きます。その時間をみんなが楽しみにしており、前日から「明日はアートの日ですよ!」と話す人もいます。そうしたア



月に一度のアート活動の様子

ート活動に取り組む仲間の姿から「仲間が描く世界をたくさんの人に見てもらいたい」と思いました。

また、ハローは内職仕事を主としているため、周りの人から活動の様子が分かりづらいうように感じています。そのため、今回カレンダーづくりを通してハローの活動を知ってもらう良い機会になるのではないかと思



加藤さんは何の絵を描きますか?

いました。こうした思いがあり、今回は「桑原さんの切り文字と仲間のイラスト」を一緒にしたカレンダーにすることにしました。事前に仲間たちに描いた絵がカレンダーに載るかもしれないことを伝えると「え? そうなの?」と楽しみにしている仲間もいました。しかし、実際に描いているときにはもうカレンダーのことは忘れていました。載るかどうか、絵が上手に描けるか、というこ



とよりも、みんなにとって「自分の描いた絵を見てほしい!」という気持ちが一番の願いでした。そして描いた絵を周りの人に見てもらえることが喜びになっているのです。できあがりを一足先に仲間たちに見てもらいました。「すごい!私の絵がある!」と喜ぶ仲間もいれば「ふーん、そうなのか」と冷静な仲間もいます(笑)もしかしたらカレンダーになってどうなるのか、その先を想像するのが難しかったのかもしれません。こうして桑原さんの切り文字と仲間のイラストが商品になり、たくさんの人に見てもらえることは嬉しいことです。「素敵な作品をつくってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えていくことで、みんなにそれを実感してもらいたいな、と思います。カレンダーがお手元に届きましたら、ぜひ仲間たちに声をかけていただくと嬉しいです。



ちょっと照れくさいけど見てほしいんです♪

カレンダーの制作にあたり、素敵な出会いがありました。いぶきを応援してくださっている「四街道市みんな地域づくりセンター」の勝又さんからデザイナーの山本に講座の依頼あり、その講座に参加されていた「特定非営利活動法人はちみつ」さんです。今年のカレンダースタンドの制作を依頼



夢中で取り組む姿にほっこり

すると、快く引き受けてくださいました。試作を何度も送ってくださり、丁寧にこの仕事に携わってくださいました。近年、コロナによっていぶきも大きな影響を受けています。いろいろな活動の場、機会、つながりがなくなったものもあります。そんな中ではちみつさんとご縁ができて一緒に取り組めたことは本当に嬉しいことでした。はちみつさんもコロナの中で同じ思いをされていたそうですが、とても良い仕事になったこと、みんなに活気がでて嬉しかったと話してくださいました。このカレンダーを通じてたくさんの仲間の仕事生まれ、互いを応援し合える素晴らしい協働ができたと思います。はちみつさんのご尽力に心から感謝いたします。

特定非営利活動法人はちみつ



共に側案(はたらき)、笑いあえ、地域も一緒に豊かになっていくことを目指し地域に根差した活動をしています。

カレンダーをご希望の方は、いぶきまでご連絡ください。若干数のご用意がございます《1セット800円》

寄付者御礼
いぶきファミリー会費を含みます

《アンケート&プレゼント!》

みなさまからのおたより
お待ちしております!

応募締め切り:11月末

今回の夢ももっとひろがれvol.208
はいかがでしたでしょうか?みなさま
のご意見やご感想、おたよりをお
待ちしております。

【ふっこメンバーズ】では、最近の
ホットニュース、ハマっていること、
ほっこりエピソードなど、みんなの楽
しい掲示板として投稿を募集中!
アンケートにお答えいただいた方
の中から抽選で、オリジナル商品をプ
レゼント!右のはがきまたは、下記
のQRコードからご応募ください。

今回のプレゼントは

“羊毛フェルトの
ストラップ&コースタ
ー”いぶきのあかね
とソレイユで作って
います。優しい手触
りに癒されます♪



アンケートフォーム



みなさまのお声をおきかせください。

これからの誌面づくりに役立ててまいります。



● 本誌をどのようにお手にされましたか?

☐郵送 ☐手渡し ☐その他()

● 役に立ったもしくは面白かった記事を教えてください。(複数可)

☐仲間のすがた ☐恩田聖敬が愛を語る ☐対話の時間 ☐わたしと娘といぶきと
☐いぶきのモノづくりストーリー ☐金波・銀波 ☐ふっこメンバーズ

● 今後、取り上げてほしい内容を教えてください。(複数可)

☐インタビュー(仲間・職員) ☐ファミリー会員さんの紹介
☐地域との協働の取り組み紹介 ☐その他()

● ふっこメンバーズに投稿 ☐ペンネーム

● ご意見・ご感想・自由に ☐ペンネーム

いぶきファミリー会員(いぶき福祉会会員)募集のご案内

月々定額の会費で、いぶきの活動を継続的に支援するしくみです。

会費 月会費 1口 250円 500円 1,000円 3,000円 5,000円 10,000円

6種類からお選びいただけます。

支払方法 ①クレジットカード決済 下記アドレスまたは、右記のQRコードよりお手続きください。
<https://deco-boco.jp/projects/view/12> (凸と凹のサイトにてご登録ください)



②郵便振替:00840=3=91146 加入者名/いぶきファミリー

お問合せ いぶき福祉会いぶきファミリー事務局

TEL 058-233-7445 FAX 058-232-9140 E-mail ibuki.m@ibuki-komado.com

(タイトルにいぶき福祉会会員と記入)

kinpa ginpa 金波・銀波

no.1

はやしもりお

無認可の共同作業所時代から、
いぶきで働いていました。
[金波銀波]は、高校時代、学校新
聞に書いていたコラムの名称で
す。いぶきの行く先が、穏やかな
航海であるように祈りを込めて!
◆今号からの連載エッセイです。

コロナ渦において全国各地の花火大
会が中止を余儀なくされていますが、
地上においては曼殊沙華(マンジュ
シャゲ・彼岸花)が百花繚乱よろしく
咲き誇っています。
曼殊沙華は球根性の一年草植物で、
桜と同じく花が咲き終わってから葉
をつけます。花・茎にもありますが、と
りわけ球根には猛毒があり、社寺や
墳墓を野生動物が荒らさないように
人為的に植えたものだそうです。曼
殊沙華の赤は深紅(消防車の赤色)で
あり血の色にも似ています。先日荒
川の上流の堤防を歩きましたが、碧
(あおい)空と緑の草のキャンパスに
深紅のじゅうたんを敷き詰めた様は、
まさに目に染みるような紅色でした。
日本人は「わびさび」を大切にする文
化を持っています。日本画や歌舞伎
の舞台のように強烈な色彩を使い、
一部分をさらに引き立てる技法を好
んで用いました。花粉を飛ばし種を
拡大することなく、毎年決まった
場所が決まった時に咲く曼殊沙華の
いさぎよさに感服した旅でした。